

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
2017年度事業報告

当財団の2017年度の事業活動は、以下の通りである。

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

- ① フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。
- ② アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

(2) 関西セミナーハウス

- ① 当財団の事業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。
- ② 当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設及び会議場を諸宗教団体、労働組合、文化・社会活動団体、教育機関・学会・研究会等に供した。

(3) 広報活動

- ① 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況について、機関紙「はなしあい」、ウェブサイト等によって継続的に情報を発信した。
- ② 機関紙、ウェブサイト等により、年度事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、その他当財団に関する情報を公開した。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事業、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

I 財団本部

1. 組織（2018年3月31日現在）

- 1) 理事会 理事 6名
- 2) 監事 2名
- 3) 評議員会 評議員 7名
- 4) 事務局 事務局長 1名

2. 会議

- 1) 理事会 定時理事会 2回
臨時理事会（決議省略） 1回
- 2) 評議員会 定時評議員会 1回

3. 広報

機関紙「はなしあい」発行

4月（583号）、5月（584号）、6月（585号）、7・8月（586号）、9月（587号）、10月（588号）、11月（589号）、12月（590号）、1・2月（591号）、3月（592号）（計10回）

4. 収益事業

当財団が持分を有する日本キリスト教会館の一部を以下の5団体に賃貸した。公益財団法人早稲田奉仕園、日本基督教団出版局、特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・東京（2017年1月1日から）、日本基督教団全国教会婦人会連合（2017年1月1日から）、東京YMCA（2017年10月から）。

II 関東活動センター

1. 組織（2018年3月31日現在）

- 1) 運営委員会 運営委員 10名
- 2) スタッフ 所長代行 1名
事務局 1名

2. 会議 運営委員会 9回

3. プログラム活動

1) フォーラム事業

（1）関東フォーラム 今日の課題

① 講演会「今、ポピュリズムを考える」

2017年12月1日（金）、会場 日本キリスト教会館

講師 水島 朝穂（早稲田大学教授）

参加者 12名

② 第3回柏木義円公開講演会

講演会「牧師・柏木義円の生涯から学ぶこと」

共催 柏木義円研究会

2017年11月25日（土）、会場 日本キリスト教会館

講師 戒能 信生 (千代田教会牧師)

参加者 22名

(2) 関東フォーラム 宗教対話

① 連続講座 日本キリスト教史を読む 第Ⅰ期明治篇

講師 戒能 信生 (千代田教会牧師)

会場 日本キリスト教会館

第1回 2017年6月23日(木)「幕末宣教師の来日と日本の教会の出発」参加者19名

第2回 2017年7月13日(木)「新島襄の生涯とその初発の信仰」参加者27名

第3回 2017年8月10日(木)「海老名弾正の生涯とその選択的受容の信仰」参加者29名

第4回 2017年9月14日(木)「植村正久の生涯とその正統的信仰理解」参加者33名

第5回 2017年10月12日(木)「内村鑑三の生涯とその贖罪信仰」参加者38名

第6回 2017年11月9日(木)「新渡戸稲造の生涯とその人格的信仰」参加者35名

第7回 2017年12月14日(木)「柏木義円の生涯とその牧師としての闘い」参加者34名

「明治期に建てられた教会を訪ねて(富士見町教会、本御中央教会、弓町本郷教会)連続講座「日本キリスト教史を読む」オプション・ツアー、コンダクター 戒能 信生
2017年11月16日(木)参加者20名

② シンポジウム「編集者がその本音を語る」

会場 蔵前カフェ・エクレスシア

第1回 2017年7月7日(金)

講師 柴崎 聡 (元日本キリスト教団出版局)

聞き手 戒能信生 (千代田教会牧師)

参加者20名

第2回 2017年10月20日(金)

講師 中川 和夫 (ふねうま舎)

聞き手 月本 昭男 (上智大学) 参加者14名

第3回 2018年2月16日(金)

講師 根田 祥一 (いのちのことば社)

聞き手 郡山千里 (CJC) 参加者11名

③ シリーズ「<ことば>を届けるために、礼拝のためのボイス トレーニング」第Ⅲ期

会場 日本聖書神学校

講師 友野 富美子 (声優)

第1回 2017年6月5日(月) 参加者7名
第2回 2017年6月12日(月) 参加者9名
第3回 2017年6月19日(月) 参加者7名
第4回 2017年6月25日(月) 参加者6名
第5回 2017年7月3日(月) 参加者8名

2) 研修・セミナー・体験交流事業

(1) 神学生交流プログラム

第9回神学生交流プログラム

日時 2017年3月5日(月)～7日(水)

会場 鎌倉黙想の家

主題 「エキュメニカル運動の軌跡と神学的課題」

校長 関田 寛雄 (青山学院大学名誉教授)

講師 神田 健次 (関西学院大学神学部名誉教授)

参加者 8神学校から11名

(2) 聖書を教材として用いる講座

聖書を読む講座Ⅰ、題「イエスの譬え話Ⅱ」

共催 早稲田奉仕園

会場 早稲田奉仕園スコットホール

講師 山口 里子 (日本フェミニスト神学、宣教センター共同ディレクター)

第1回 2017年4月11日(火) 参加者22名
第2回 2017年5月9日(火) 参加者20名
第3回 2017年6月13日(火) 参加者20名
第4回 2017年7月11日(火) 参加者17名
第5回 2017年9月12日(火) 参加者21名
第6回 2017年10月10日(火) 参加者19名
第7回 2017年11月14日(火) 参加者14名
第8回 2017年12月12日(火) 参加者14名
第9回 2018年1月9日(火) 参加者14名
第10回 2018年2月13日(火) 参加者17名

(3) 協賛プログラム「Liby チャリティーコンサート」

主催・東京 YMCA Liby

2018年3月3日(土)、会場・日本基督教団阿佐ヶ谷教会

参加者 約100名

Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター

1. 組織 (2018年3月31日現在)

1) 運営委員会 運営委員 12名

- 2) スタッフ 所長 1名
 事務局 1名
 2. 会議 運営委員会 9回
 3. プログラム活動

1) フォーラム事業

(1) 修学院フォーラム 社会

目的 昨年度から引き続いて「宗教と戦争」について考える。
 継続的テーマの「エネルギーを考える」の第6回では、
 「フクシマの問いにどう応えるか」を倫理的視点と技術
 的視点の双方から考える。佐藤 優氏と共に、昨年度に続
 いてキリスト教は政治的課題にどう関わるかを考える。

第1回 宗教と戦争を考える<3>

題「キリスト教はなぜ戦争について容認するようにな
 ったのか？」

2017年10月7日(土)

講師 土井 健司(関西学院大学神学部教授)

参加者 17名

第2回 宗教と戦争を考える<4>

題「内村鑑三の戦争観」

2017年11月11日(土)

講師 岩野 祐介(関西学院大学神学部教授)

参加者 13名

第3回 核兵器禁止条約を知り考える集い

題「なぜ日本は「核兵器禁止条約」に賛成できないの
 か—何が日本を守るのか」

2017年12月16日(土)

講師 富田 宏治(原水爆禁止世界大会起草委員長、
 関西学院大学法学部教授)

参加者 25名

第4回 「エネルギーを考える」第6回

題「原発との共存は可能か?~フクシマからの問い~」

2017年1月7日(日)~8日(月祝)

講師 大島 堅一(龍谷大学政策学部教授、原子力市民
 委員会座長代理)

島 蘭 進(上智大学大学院実践宗教学研究科教
 授・グリーンケア研究所長、東京大学名誉教授)

参加者 29名

第5回 題「キリスト教徒は激動する国際情勢をどう見るか—
 米朝関係を中心に」

2018年2月17日(土)

講師 佐藤 優 (作家、元外務省主任分析官)

参加者 60名

(2) 修学院フォーラム いのち

目的 多くの人が不安を抱える老いの日をいかに生き、支えるか考える。キリスト教の受難節(レント)の時期に音楽と共にいのちの輝きを味わう。

第1回 老いの日をいかに生き、支えるか<1>

2018年2月3日(土)

①題「創られ、ゆるされ、希望を与えられ、老いを生きつつ、老いを支える」

講師 奈倉 道隆 (介護福祉士、老年科医師)

②題「地域に生きる“ビハーラ”をめざして、思いやりとおかげさまの心をもって」

講師 大橋 紀恵 (法燈山安明寺坊守、看護師、保健師)

参加者 20名

第2回 題「いのちとさんび ピアノとお話のひとつとき」

2018年3月4日(日)

講師 菅野 万利子 (ピアニスト)

参加者 34名

(3) 修学院フォーラム 福祉

目的 精神障がい者と共にどう生きるか、子どもの虐待とどう向き合うかを考える。

第1回 題「共に生きる地域社会づくり～「からしだね」の実践からみる、精神障がい者にとっての生きづらさ」

2017年6月10日(土)

共催 京都YWCA

会場 京都YWCA

講師 坂岡 隆司 (社会福祉法人ミッションからしだね理事長)

参加者 23名

第2回 題「児童虐待防止のために私たちができること～最前線の実情を通して考える～」

2018年2月10日(土)

共催 京都YWCA

会場 京都YWCA

講師 津崎 哲郎 (NPO 法人児童虐待防止協会理事長、関西大学客員教授)

参加者 26名

2) 研修・セミナー・体験交流事業

(1) 開発教育セミナー

目的 人権・平和・環境などの地球的課題を参加型学習で学び、
私たちの社会のありようを考える。

第1回 題「開発教育入門セミナー」(協力プログラム)

会場 京都市国際交流会館

2017年7月9日(日)

参加者 56名

第2回 題「ビジネスで持続可能な社会をつくる

～インドネシアのカカオとの出会いから」

2017年7月15日(土)～16日(日)

講師 吉野 慶一(Dari K株式会社代表取締役)

参加者 25名

第3回 題「『考える』をファシリテートする～民主主義を耕す
ために」

2017年9月9日(土)～10日(日)

講師 森 秀樹(兵庫教育大学大学院教科教育実践開発
専攻)

参加者 21名

第4回 題「日本は"死の商人"になるのか? ～軍事と民生の境
界線」

2017年10月14日(土)～15日(日)

講師 杉原 浩司(武器輸出反対ネットワーク(NAJAT)
代表)

参加者 10名

第5回 題「沖縄のまなざし、沖縄へのまなざし～メディアの
報道と私たち」

2017年11月18日(土)～19日(日)

講師 安田 浩一(ジャーナリスト)

参加者 14名

第6回 題「もっと知りたいイスラーム

～中東とヨーロッパの「今」から学ぶ」

2017年12月9日(土)～10日(日)

講師 内藤 正典(同志社大学大学院グローバル・スタ
ディーズ研究科教授)

小杉 麻李亜(特定非営利活動法人京都イスラーム文化協会アカデミック・アドバイザー、立命館大学講師)

参加者 19名

(2) お茶のこころと宗教のこころプログラム

目的 キリシタン武将高山右近の生と死について学び、またお茶と俳句を楽しみつつ、聖書の言葉を味わう。

1 題「キリシタン大名 高山右近の生涯が私たちに問いかけるもの」

2017年9月9日(土)

講師 川村 信三(上智大学文学部史学科教授、イエズス会司祭)

参加者 26名

2 題「聖書をいっしょに読みましょう」

座長 榎本 栄次(日本基督教団牧師)

第1回 2017年4月6日(木) 参加者13名

第2回 2017年5月11日(木) 参加者14名

第3回 2017年6月1日(木) 参加者12名

第4回 2017年7月6日(木) 参加者13名

第5回 2017年9月7日(木) 参加者14名

第6回 2017年10月5日(木) 参加者13名

第7回 2017年11月9日(木) 参加者14名

第8回 2017年12月7日(木) 参加者13名

(3) 展示、講演会事業

もみじまつり

目的 紅葉の美しい季節に、関西セミナーハウスの施設を開放し、お茶、お琴、音楽、美術などを楽しむ。

共催 関西セミナーハウス

2017年11月23日(木・祝)

催し物 お茶席、箏曲、「和太鼓の響き」、展示「水墨画の世界」
担当、演奏 北風 宗照、藤井 宗恵、裏千家一宇会、
岩堀 敬子、シュペネマン大島偕美、和太鼓 宴

参加者 400名

IV 関西セミナーハウス

1. 組織(2018年3月31日現在)

1) 経営委員会 経営委員 8名

2) 人事委員会 人事委員 5名

3) 館長 1名

4) スタッフ 17名

2. 会議

1) 経営委員会 14回

2) 人事委員会 7回

3. 特記事項

1) 利用状況 (カッコ内は前年度比、資料参照)

① 年間の延宿泊者数

上期 4,782名 (96%)

下期 4,089名 (111%)

合計 8,871名 (102%) (前年より173名増)

② 個人団体比率

団体 7,129名 (構成比80%) (前年比102%)

個人 1,742名 (構成比20%) (前年比101%)

2) 公益目的事業と収益事業分類別

(1) 宿泊分類別

① 公益目的事業

・アカデミープログラム 116名

・キリスト教諸団体 639名

・教育関係・学会・研究会 1,708名

・文化・社会活動団体、労組他 2,326名

合計 4,789名

② 収益事業

・一般諸団体 839名

・一般企業 807名

・人材育成法人 728名

・親睦グループ 494名

・個人 1,214名

合計 4,082名

(2) 当日利用分類別

公益目的事業

・アカデミープログラム 979名

・キリスト教諸団体 219名

・教育関係・学会・研究会 560名

・労働組合、文化・社会活動団体 2,290名

合計 4,048名

(3) 宿泊及び当日利用合計

公益目的事業 8,837名 (113%)

収益事業 4,082名 (101%)

(以上)